

矢印は、前週の数に対して ↑増加 ↓減少 →横ばい を表しています。

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↑ 3,594	3,011	百日咳	→ 1	0
RSウイルス感染症	↓ 37	57	ヘルパンギーナ	↓ 2	5
咽頭結膜熱	↑ 19	11	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	↑ 57	36
A群溶血性連鎖球菌 咽頭炎	↓ 55	64	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 715	751	流行性角結膜炎 (はやり目)	↑ 11	1
水痘	↑ 87	82	細菌性髄膜炎	→ 0	1
手足口病	→ 0	1	無菌性髄膜炎	↑ 2	0
伝染性紅斑 (りんご病)	→ 7	7	マイコプラズマ肺炎	→ 4	4
突発性発しん	↓ 34	43	クラミジア肺炎	→ 0	0

インフルエンザ

報告が多い
感染症

☀ 感染性胃腸炎
☀ 水痘

- インフルエンザは、報告数 3,594件(前週報告数 3,011件)と増加。
地区別では、菊池、八代、人吉に多く報告がみられる。
年齢別では、10～14歳の706件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 感染性胃腸炎は、報告数 715件(前週報告数 751件)と減少、なお警報が継続中。
地区別では、山鹿、人吉、菊池に多く報告がみられる。
年齢別では、1歳の119件を最多に幅広い年齢層から報告されている。
- 水痘は、報告数87件(前週報告数 82件)とやや増加。
地区別では、菊池、熊本、山鹿に多く報告がみられる。
年齢別では、2歳の16件を最多に、主に7歳以下からの報告である。

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血 性連鎖球 菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパ ンギーナ	流行性 耳下腺炎	急性出 血性結 膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎
熊本市保健所	1294	6	2	23	197	33	0	6	12	0	1	15		8		2	2	
山鹿保健所	107	0	0	0	88	4	0	0	2	0	0	0	*	*				
菊池保健所	585	3	5	8	101	25	0	0	2	0	0	6		1				
阿蘇保健所	47	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	*	*				
御船保健所	74	0	0	0	27	1	0	0	0	0	0	0	*	*				
八代保健所	479	1	2	2	44	2	0	0	3	0	0	3						
水俣保健所	54	9	0	0	4	1	0	0	3	0	0	15	*	*				
人吉保健所	286	3	0	5	86	3	0	0	0	1	0	2	*	*				
有明保健所	288	1	7	5	59	8	0	1	6	0	0	4		2				1
宇城保健所	188	9	1	2	58	5	0	0	2	0	0	8						
天草保健所	192	5	2	10	37	5	0	0	4	0	1	4						1
計	3594	37	19	55	715	87	0	7	34	1	2	57	0	11	0	2	4	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0～5ヶ月	6～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上		
インフルエンザ	3594	10	36	154	172	199	295	325	288	215	236	214	706	113	93	216	123	82	52	41	24		
小児科定点年齢	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上								
RSウイルス感染症	37	6	10	13	7	1																	
咽頭結膜熱	19		2	7	1	2	1	4	1	1													
A群溶血性連鎖球菌咽頭炎	55				3	5	5	13	5	8	2	7	6	1									
感染性胃腸炎	715	5	41	119	51	61	67	44	46	29	27	18	112	29	66								
水痘	87	4	8	14	16	12	15	9	6	1			1		1								
手足口病	0																						
伝染性紅斑	7			2			2	1	1			1											
突発性発しん	34	1	20	12	1																		
百日咳	1																						
ヘルパンギーナ	2			1			1																
流行性耳下腺炎	57		2	8	9	7	6	7	6	3	2	1	5		1								
眼科定点年齢区分	合計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上			
急性出血性結膜炎	0																						
流行性角結膜炎	11				1										3	1	3	2				1	
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上						
細菌性髄膜炎	0																						
無菌性髄膜炎	2		1									1											
マイコプラズマ肺炎	4				2				1									1					
クラミジア肺炎	0																						

**大きな流行が発生
又は継続しつつある地域**

- インフルエンザ : 熊本・山鹿・菊池
八代・人吉・有明・宇城
- 感染性胃腸炎 : 山鹿・菊池・人吉・宇城
- 流行性耳下腺炎 : 水俣

インフルエンザ



インフルエンザは、先週、警報の基準値(30.00)を超えましたが、今週は更に報告数が増えています。県下11地域中7地域が警報レベル、4地域が注意レベルにあります。特に、菊池(83.57)、八代(68.43)、人吉(57.20)、熊本(51.76)が大きく警報レベルを超え流行しています。インフルエンザは、突然の高熱と寒気、頭痛、全身のだるさ、筋肉痛などの全身症状が特徴です。時には肺炎や脳症などを併発して重症になることもあります。インフルエンザを予防するために、①流行時には人混みを避ける②手洗い・うがいを習慣づける③栄養、休養、睡眠を十分に取る④部屋の換気と保湿に心がけるなどの対策を行いましょう。もし、インフルエンザにかかってしまった場合は、学校や職場へは無理して行かず、早めに医療機関を受診し治療を受けましょう。また、周りの人へうつさないために、咳エチケットを心がけ、外出を控えるようにしましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供 : 熊本県健康福祉部 健康危機管理課